

留 学 報 告 書

記入日:2018年10月23日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部法律学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ノースイースタン大学 現地言語: Northeastern university
留学期間	2017年9月～2018年4月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2018年8月25日
明治大学卒業予定年	2020年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬～12月中旬 2学期:1月上旬～4月末 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	19940
創立年	1898

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	8000	100万円	
食費	6000	75万円	
図書費	5000	7万5千円	
学用品費	50	7000円	
教養娯楽費	2000	25万円	
被服費	500	5万円	
医療費	0	0円	
保険費	1300	13万円	形態:
渡航旅費	1200	15万円	
雑費	1000	12万円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計	25050	252万円	

渡航関連

渡航経路: 直行便

渡航費用

チケットの種類	片道
往路	96,130円
復路	なし
合計	96,130円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

エクスぺディア

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数2人)

3)住居を探した方法:

大学からの指定でした。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

international village は食堂がついているため、とても過ごしやすかったです。ただ綺麗すぎて若干のホテル感があるので、私はアパートメントスタイルの方が好きでした。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
 利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

留学アドバイザーの方に相談していました。様々なことに関しての窓口があります。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学から情報がメールで送られてきました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

キャンパス内どこでも WiFi があります。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本からデビットカードを持って行きました。現地で最終的にチェックングアカウントも開設しました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

特にありませんが、100均の便利だと思えるものは持って行くべきです。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
就職キャリア事務室
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
エアライン系 , 商社などを考えています。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学中にも情報収集をすることが重要だと思います。また、ポストキャリアフォーラムに参加するのもいいと思います。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
32 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 26単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
pshychology and law	心理学と法
科目設置学部・研究科	
履修期間	4ヶ月
単位数	4
本学での単位認定状況	4単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とグループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	karina money
授業内容	教科書に沿って法真理を学んだり、シリアルキラーについて学んだりしました。
試験・課題など	セイン宅式の試験が中間と期末である。具rーぶでの発表、ペーパーもある。
感想を自由記入	受けている学生が皆経験豊富かつ学ぶ意識が高かった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
american government		憲法(統治)	
科目設置学部・研究科			
履修期間	4ヶ月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義とセミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に65分が3回		
担当教授	william mayor		
授業内容	アメリカ政治と憲法について詳しく学ぶ		
試験・課題など	憲法のテストと、筆記型の間中期末がある。		
感想を自由記入	非常にわかりやすい先生だった。セミナーの時間が都合が悪いと相談したら特別措置をしてくれた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
death penalty		刑法(各論)	
科目設置学部・研究科			
履修期間	4ヶ月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授			
授業内容	アメリカの死刑制度と身体に対する罪について		
試験・課題など	筆記式の間中期と期末		
感想を自由記入	ゲストスピーカーを何度か読んでくださったのでそれが非常に面白かったです。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
english writing for bilingual speakers		専門演習	
科目設置学部・研究科			
履修期間	4ヶ月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に65分が3回		
担当教授			
授業内容	本を読んで批評したり、映画を見て内容をまとめて発表したり、自分でインタビューをしてレポートを作ったりした。		
試験・課題など	3回ライティングの課題がある。		
感想を自由記入	留学生ばかりが受ける授業なので、英語の授業に慣れるために非常に良い授業だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
globalization and international affairs		国際組織法	
科目設置学部・研究科			
履修期間	4ヶ月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	4単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	インタラクティブな講義 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授			
授業内容	世界で起きている問題をなぜ起きているのか、世界の機関はどうやって解決しようとしているのかについて学んだ。		
試験・課題など	ライティングの課題が2度、中間と期末もあります。		
感想を自由記入	生徒が真剣に先生と議論ができるクラスだった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to French culture		ヨーロッパ文化	
科目設置学部・研究科			
履修期間	4ヶ月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	4単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に100分が2回		
担当教授	alice sedar		
授業内容	フランスの文化をアメリカと比較しながら学んでいく。		
試験・課題など	筆記式のテストが4回		
感想を自由記入	先生が非常に素敵なお方だった。ただ、授業中に発言をしなければならなかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
International Relations		国際関係論	
科目設置学部・研究科			
履修期間	4ヶ月		
単位数	4		
本学での単位認定状況	4単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式、セミナー(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に65分が3回		
担当教授			
授業内容	国際関係論の基礎について学ぶ。		
試験・課題など	筆記式の試験が3回		
感想を自由記入	セミナーで行うシミュレーションが楽しかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to criminal justice	アメリカ法
科目設置学部・研究科	
履修期間	4ヶ月
単位数	4
本学での単位認定状況	4単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に100分が2回
担当教授	
授業内容	アメリカの刑法の基礎について学ぶ。
試験・課題など	4回のテストと数回の小テスト
感想を自由記入	先生がジョークを交えて授業をするのでとても楽しかった。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等

2016年 1月～3月	大学受験、留学の形態を調べる
4月～7月	留学先を選び始める
8月～9月	TOEFL,IELTS 受験
10月～12月	協定校出願、面談
2017年 1月～3月	留学決定
4月～7月	英語力向上のためリスニングなど、留学準備
8月～9月	、留学開始
10月～12月	中間、期末
2018年 1月～3月	中間、期末
4月～7月	協定校留学終了、旅行、サマーセッションへ
8月～9月	サマーセッション
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	高校の時にカナダ、中国に留学をした際に、他の国で勉強している同い年の学生たちが自分よりもかなりレベル高く、すでに世界を視野に入れて勉強していることに驚きました。その時から、自分も彼らと同じレベルに成田、同じレベルの教育を受けたいと思うようになり、長期留学をしたいという気持ちが湧きました。もちろんよく留学の動機としてあげられるものではありませんが、他人の価値観を認め受け入れられる人間になりたい、誰も自分を知らない場所で一人一人頑張りたい、という気持ちもありました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	上に書いた通り、高校時代から長期留学が目標だったので、その当時から英語の塾に通い一生懸命に勉強してきました。大学に入ってからの特例な準備としては、夏休みに TOEFL、IELTS のための勉強を行いました。最初慣れるまでの期間は授業についていくことに必死でしたが、慣れてくると英語がわからないから授業がわからないということはなくなりました。特にリスニングは勉強して行ってよかったと思います。語学面以外では、もっとアメリカのポップカルチャーを知って入れればよかったなと激しく後悔しました。
この留学先を選んだ理由	ノースイースタン大学を選んだというよりは、まずはボストンという土地に憧れました。世界のトップユニバーシティであるハーバード大学や MIT がある学生としての雰囲気味わってみたいというのが第一の理由です。ノースイースタン大学についてもっと調べていくと、留学生をたくさん受け入れており、3 分の1 の学生が中国からの留学生だということも知りました。世界のいろいろな人と出会いたいという思いが強かったので、ノースイースタン大学に決めました。
大学・学生の雰囲気	先に述べたとおり、留学生がとても多いのでキャンパスでは毎日いろんな言語が飛び交っています。
寮の雰囲気	最初に入ったインターナショナルビレッジは一番新しい寮でとても綺麗でした。ジムや食堂もついており、寒い日には寮にこもっていました。多くの交換留学生在がこの寮に配属されるので食堂では良く友人に会っていました。たまにイベントも RA さんが企画して下さいます。2学期めに移った寮は3人部屋でしたが、キッチンもついている広い部屋で、家に帰ってきたような感覚にさせてくれました。イベントも同じように何度か開催されましたが、こちらの量ではルームメイト意外と友達になるのは難しかったです。
交友関係	初めのオリエンテーションで交換留学生全員と出会うので割と早く友人はできました。授業中もわからないことを隣の子に聞いてみたり一緒に試験勉強をしたりもしました。学校では主に交換留学生的の友人が多かったのですが、ボストン剣道協会に参加する事によって日本人の友人ができた、他校にも友達ができたりしました。
困ったこと、大変だったこと	初めはやはり英語の授業についていくことに精一杯で、自分の時間を取ることができないことが多かったです。せっかくアメリカに来ているのだから色々やってみたいと思っはいたものの、リーディングの課題が重く、毎日6時間以上自習していました。しかし英語力が上がり、コツを掴んでくると自由時間も増え、毎日が楽しくなりました。
学習内容・勉強について	主に国際関係の授業を履修しました。私の専門は法律なのでそもそも難しいと言われる国際関係論を新しいこととしてを学ぶことは非常に大変でした。オフィスアワーに教授の元に行き、何度も質問をすることが成績アップにつながったのだと思います。

課題・試験について	課題は正直かなり大変でした。リーディングの課題が一番きつく、300ページもある本を一週間で読めというものは寝不足になりながらこなしました。しかししっかりと予習をしていけば授業をかなり理解出来るので頑張りがいきている事を実感できて嬉しかったです。
大学外の活動について	ボストン剣道協会に最低でも週一回は参加し、試合にも出させていただきました。また、小中高生にスノーボードを教えるというボランティアもさせていただきました。
留学を志す人へ	ちょっと行ってみたいな、と思っている人は絶対に留学するべきだと思います。自分を見つめ直し、自分の人生を考えられるほどたくさんの自由時間を持てる留学をしたからだと考えます。少しでも気持ちがあるならば、早めに英語の準備をして希望する大学に行けるよう頑張ってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業	起きる	起きる
	授業	授業	授業	授業	授業	ランチ	ランチ
午後	授業	授業	授業	自習	ショッピング	友人宅へ	自習
	剣道	授業	授業	自習			自習
夕刻	剣道	買い物	ゆっくり	剣道	夜ご飯	パーティ	ゆっくり
夜	予習	予習	予習	予習	ゆっくり		予習